

津久見中央病院 からのお知らせ

津久見中央病院基本理念

津久見市における中核病院として医師会員と連携し、市民の健康と福祉を保証することを目的に患者中心の医療の心構えを持ち常に医療水準の向上に努め、専門的倫理的医療を提供し住民の満足を得られるように意欲ある活動をすることを使命とする。

津久見市医師会立津久見中央病院院長

石川 浩 一

おかげさまで津久見中央病院はまもなく開院28年になります。市民の皆様と、かかわってこれたすべての方々に育てていただいたことを心より感謝申し上げます。この度、病院の体制が変わりました。病院としてこれまで以上に基本理念を徹底し、津久見市医師会長大石省一郎先生をはじめとする医師会の先生方と、桑原亮彦健診センター長、竹下泰病院担当特命理事にご指導いただきながら、病院の存続・発展のために職員一丸となり努力してまいります。今後ともご支援をよりしくお願い申し上げます。

職員を代表して、皆様にお願いとお伝えしたいことがございます。

1. かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医は、普段の患者さんの様子や生活習慣、家族背景も分かっただけで、患者さんに最適な治療方法について、相談にのってくれる強い味方です(市報2015年12月号13ページ参照)。体調がおかしいな、と思ったら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。必要な時には、当院を紹介して下さい。症状が安定したら、以後の治療の継続を再度かかりつけ医の先生にお願いしています。中央病院では大学人事により医師の異動があります。担当医がたびたび変更になり、患者さんにはご迷惑をおかけしています。なお、もしもの場合の救急車の利用の仕方については津久見市公式ホームページを参照してください。

2. おくすり手帳を有効活用しましょう

処方されたお薬の内容の記録や、過去のアレルギーや副作用の記録ができます(市報2016年1月号12ページ参照)。かかりつけ医の先生との連携だけでなく、緊急時や大規模災害時にも飲んでいるお薬がわかるので、大変役に立ちます。おくすり手帳を利用しながらご自身の病気について知り、日ごろから自分の医療情報をまとめておきましょう。ちょっとした心がけで、患者さん自身が納得して医療を受けられます。

3. 特定健診やがん検診を受けましょう

津久見市は大分県国民健康保険団体連合会疾病別統計表によると、平成27年度生活習慣病疾病別有病率で、いずれも県内でワースト5に入っています。その内訳は、糖尿病2位(20.1%)、高血圧1位(37.1%)、虚血性心疾患2位(8.5%)、脂質異常症1位(33.3%)、脳血管疾患1位(6.6%)となっています。この結果で一概に悪いと言い切れませんが、割合としては高いので気をつけてください。がんに対しては「早期発見早期治療」が大前提です。「苦勞して治療するよりまず予防」です。例えば自家用車を定期点検に出した時は、自分の身体も「点検」して、日ごろから健康管理をしましょう。

津久見には感謝の気持ちといたわりの心を持っている温かい人がとても多くいらっしゃいます。そのような方々に私どもはこれまでに幾度となく励まされてきました。市民の皆様のために、私どもが少しでもお役に立てたらこんなに嬉しいことはありません。

最新1.5テスラMRI装置を導入しました。近日中に診療開始します。

特徴

- ・開口部が楕円形なので肩幅の広い方や、閉所が苦手な方にもリラックスして検査を受けられます。
- ・以前のMRI装置より磁場が強くなった為高画質な画像が得られ、検査時間も大幅に短縮されます。
- ・造影剤を使用せず血管の描出ができます。
- ・体動補正技術を搭載しているので様々な方に検査ができます。
- ・X線を使用しないので被ばくの心配がありません。

